

2007 年度

科目名	対象学科・学年 薬学部薬学1 回生	担当者
コミュニケーション演習 A		宮下 和之
授業テーマ 信頼関係の確立のためのコミュニケーション		
授業の概要と目標 コミュニケーションは、薬剤師の重要なスキルのひとつであります。患者あるいは医療チーム内での意思疎通のためにも低学年よりその重要性を理解せねばなりません。この目的を達成するために、本演習科目は担当教官の提示する課題に対して、各受講生は小グループ形式での討論とその結果の発表を行い、より良いコミュニケーションを行うための知識、技能および態度の習得を目指します。 (日本薬学会モデルコアカリキュラム A(3)「信頼関係の確立を目指して」に対応)		
評価方法 授業への出席数、および期末時に課すレポートを評価の対象とします。		
テキスト 必要なテキストは、授業開講時に配付します。	著者	出版社
参考書 ・スタンダード薬学シリーズ1 ヒューマニズム・薬学入門 ・薬局におけるコミュニケーション能力の開発と実践	著者 日本薬学会 編 平井みどり、楠元 喬 監修	出版社 東京化学同人 じほう社
授業スケジュール・内容		
1. イントロダクション	薬剤師業務におけるコミュニケーションの必要性。言語的および非言語的コミュニケーションの方法。立場、文化、習慣などによって生じるコミュニケーションの差異。本演習の進め方について。	
2. コンセンサスゲーム その1	コミュニケーションを図るための簡単なゲーム課題の提示。	
3. コンセンサスゲーム その1	与えられた課題についての小グループ内での討論。	
4. コンセンサスゲーム その1	与えられた課題についての小グループ内での討論。	
5. コンセンサスゲーム その1	討論結果の発表と全体での討議。	
6. コンセンサスゲーム その2	新たなゲーム課題の提示。	
7. コンセンサスゲーム その2	与えられた課題についての小グループ内での討論。	
8. コンセンサスゲーム その2	与えられた課題についての小グループ内での討論。	
9. コンセンサスゲーム その2	討論結果の発表と全体での討議。	
10. アサーディブネススキル	対立意見を尊重し、協力してよりよい問題の解決を見いだすのに必要となる技能、態度とは。	
11. グループ討論	小グループで討議する議題の提示とその背景の説明。	
12. グループ討論	議題についての小グループ内での討論。	
13. グループ討論	議題についての小グループ内での討論。	
14. グループ討論	討論結果の発表と全体での討議。	
15. まとめ	本演習科目により習得できた技能および態度について。何が身に付いたのか？	